

平成 30 年度 姉妹校等留学プログラム

横浜市立横浜商業高等学校台湾訪問プログラム

(1) 学校・団体名/種類（派遣高校生的人数）

横浜市立横浜商業高等学校/海外研修（2人）

(2) 渡航先

国/都市：台湾/台南県麻豆市・台南県台南市・台北市

外国の高校：国立曾文高級家事商業職業学校、国立玉井高級工商職業学校

(3) 期間

平成 30 年 10 月 30 日～平成 30 年 11 月 5 日（7日間）

(4) プログラムの趣旨・目的

- ①台湾の学生と接し、台湾の文化や考え方を知ることにより国際感覚を養う。
- ②交流やホストファミリーと過ごすことで、日常会話としての英語コミュニケーション能力や異文化間コミュニケーション能力を養う。
- ③事前学習を通じ、台湾と日本の関係の歴史や台湾の高校生との交流の意義について理解を深める。インターネットを活用した交流を開発する。
- ④国際都市横浜や本校の紹介を英語で行うことで、英語によるプレゼンテーション能力を養うと共に、横浜における台湾の学生との交流の更なる活性化を図る。
- ⑤派遣後、全校生徒への報告の場を設定し、派遣の成果を学校全体に還元する。

(5) 活動内容

10月30日～11月5日の6泊7日の日程で実施した。行程は5日間台南市、2日間台北市に滞在した。

羽田発台北空港着後現地新幹線で台南へ向かい、台南市にある台湾国立曾文高級家事商業職業学校。英語、工芸、観光サービスに関する授業を受けた。

台湾高校生による台湾についてのプレゼンテーションを聞き台湾への理解を深めたのち、横浜市の歴史や観光の紹介、高校について、日本の高校生の学生生活や実態調査に基づく発表を30分間パワーポイントを用い英語で実施した。さらに日本の伝統やサブカルチャーなど世界の若者に共通する日本文化を発信し、日台文化交流の役割を果たした。

現地では生徒宅へのホームステイにより、台湾人のあたたかいおもてなしの心に触れ、国際交流における「人と人の交流」の大切さを学んだ。さらに、現地の食文化、生活習慣を受け入れ、英語と中国語によるコミュニケーション力も養った。

台北では、自力で地図を片手に現地バスと地下鉄 MRT を駆使し、台北市内の観光名所を巡った。旅における事前に下調べ、計画を立てること、しかし不測の問題が起きても臨機応変に対応する問題解決能力と現地でのコミュニケーション能力など、今後世界で活躍する人材として、この経験から学んだ「生きる力」の意味は大きいであろう。

(6)実績・成果

○派遣高校生 SHさん

1日目 (10月30日)



台湾上空の様子です。

日本と違い、緑が多い印象です。

建物が多いイメージだったため、意外でした。

嘉義駅でのホストシスターたちとの対面
出会った最初からとてもフレンドリーで、嬉しかったです。



2日目 (10月31日)



交流先の曾文家商学校です。カラフルで、とても大きな学校でした。

日本や自分たちの高校についてのプレゼンテーションを行いました。

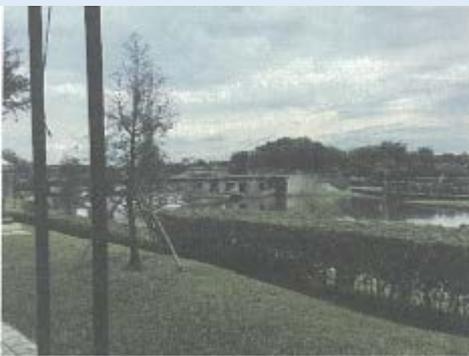
曾文家商学校の生徒たちの発表は、主に学校や地域についてで、知らないことが多かったです。



プレゼンテーションの後は、曾文の生徒たち主催のアクティビティをしました。写真は、「Spider」というゲームの様子です。

他にも、台湾のお菓子の名前を覚えるゲームなどをやり、本当に楽しかったです。

3日目（11月1日）

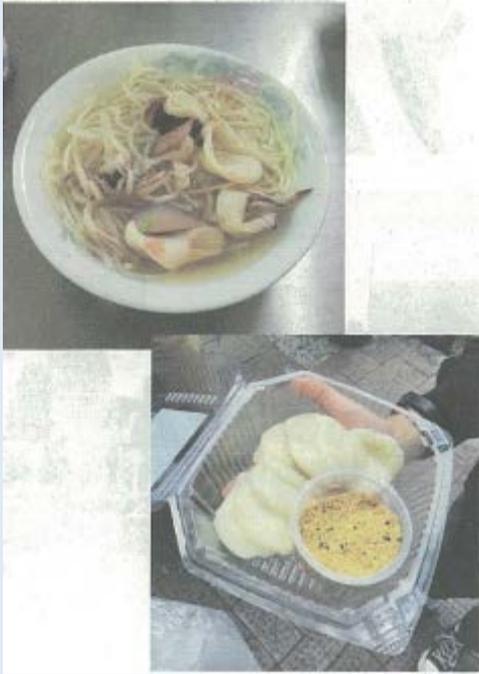


この日は台南市にある奇明博物館に行きました。内部の写真は撮れませんでした。外の庭園の写真は撮ることができました。

とても美しく、博物館の方にもさまざまな絵画や剥製が展示されていました。

博物館のポストカードにメッセージを書き、自宅に送りました。

写真はポストにハガキを入れる前に、ホストシスターと撮ったものです。



写真は、この日のお昼に食べたものです。小巻米粉というタコのヌードルと台湾のお餅です。この他にも、揚げ鶏や抹茶のソフトクリームを食べました。

お餅は日本のものと違って水分が多く、比較的柔らかい触感でした。

4日目（11月2日）



この日は朝から砂糖工場に行きました。ここは日本人が建てた場所で、現在は資料館となっています。

中学校で習った歴史や自分が知っている知識とも絡めて見学することができ、より理解が深まりました。

午後は家庭科と英語の授業体験をしました。家庭科では羊毛フェルトでの製作を体験し、英語の授業では様々なプレゼンテーションを見せていただきました。

ダンスや歌を披露するなど、普通のプレゼンテーションとは違っており、とても楽しかったです。

その後、お邪魔したクラスの生徒たちからたくさん質問され、互いの国での生活や文化など、より台湾について理解を深めることができた時間となりました。



5日目 (11月3日)



この日はホストファミリーと過ごす最後の日でした。午前中はみんなで写真を撮りながら観光しました。



嘉義駅で別れるとき、思い出が次々とあふれてきてしまい、思わず泣いてしまいました。

夜は台湾で一番大きい、台北の士林夜市に行きました。日本では見られない食べ物をたくさん味わうことができました。



これはいちご飴です。台湾の夜市ではメジャーなものらしく、曾文の子たちにおすすめされました。

一番下はトマトの飴になっており、美味しかったです。



この青い円盤は、日本でいう切符のようなものです。士林夜市に行くために乗った電車で使いました。日本ではお金を入れれば紙の切符が発行されるため、新鮮でした。

6日目（11月4日）

この日は、まず台北 101 に行きました。台湾で一番高い建物で、下から見上げると、首が痛くなるくらい高かったです。

展望台まではエレベーターで向かいました。このエレベーターは世界一速いエレベーターで、ギネスブックにも掲載されています。

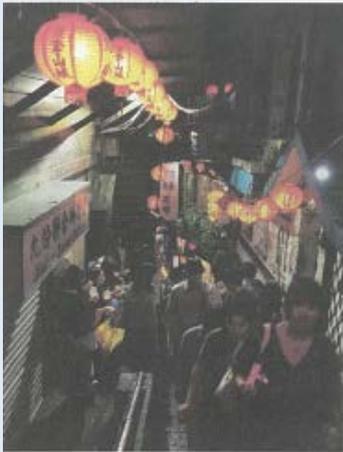
展望台からは台北の街が一望でき、その高さを実感できました。



台北 101 を見学後、十分へ向かい、ランタン飛ばしをしました。

ランタン飛ばしとは、ランタンに墨で願い事を書き、空へ飛ばすというものです。ランタンにはそれぞれ色があり、色ごとに意味があります。

ランタンが上手く上空へ飛んだときはとても嬉しかったです。

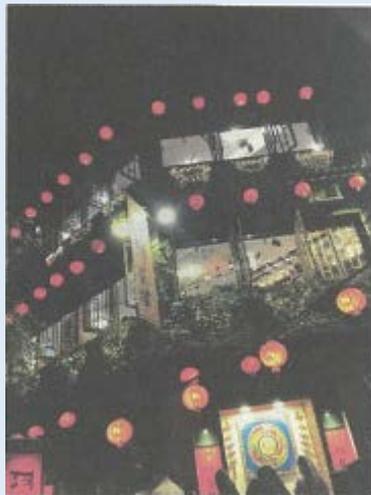
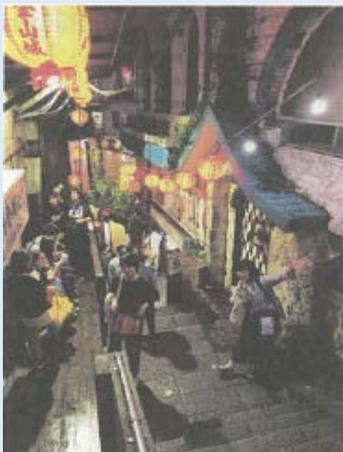


十分でのランタン飛ばしの後、九份へ行きました。

ジブリ映画『千と千尋の神隠し』など、数多くの映画やドラマの舞台となった場所です。

ガイドブックで見るより幻想的かつ美しい場所でした。

『千と千尋の神隠し』の油屋のモデルになったとされる「阿妹茶屋」の前で、たくさん写真を撮りました。



7日目 (11月5日)



台湾研修も最終日となったこの日は、初めに龍山寺に行きました。ここは台北最古の寺で、名所の一つです。

日本の寺と違い、願い事をするのができ、建物の構えも華やかさがありました。



龍山寺を訪れたあとは、中正記念堂へ行きました。台湾の観光名所の一つで、「中正」とは蒋介石の本名です。

中では、警備を行っている儀仗隊の交代式も見学することができました。

台の上で警備を行っている間は、何があっても身動き一つしておらず、驚きました。

まとめ

台湾に行ったのは今回が初めてで、日本では経験できないことをたいさん体験できました。

特に、ホームステイは初めてで、行く前に上手く話せるか、仲良くできるか不安でした。しかし、ホストファミリーは優しく、お互いに第二言語で話すこともあり、拙いながらも会話ができて、楽しく過ごすことができました。

また、今まで歴史の授業で習ってきたことや、自分の持っている知識とも絡めて台湾の名所を巡ったことで、より理解を深めることができました。

今回の交流で私が学んだことは、考える前にやってみるということです。当たり前のように聞こえるかもしれませんが、自分が知らないことを知るには、まず体験してみることが一番だと感じました。

例えば、英語で相手に伝えたいことがあるがなんて言えばいいかわからない…こんな時はまず、考え込む前に単語でもいいから話してみることが大切であるということです。仮に伝わらなくても、話したら聞いている相手は必ずなにかを感じ取り、そこから話が広がっていきます。

これは実際に私が今回の交流で経験したことです。異文化交流、異文化理解という言葉をよく耳に

しますが、もっと大切なのは、失敗しても構わないから、とりあえずやってみるということだと思います。

まだまだ私の身近では、台湾についてあまりよく知られていません。だからこそ、今回の姉妹校交流で私が体験したことを、友人・クラスメイトとの日常会話をはじめ、日頃の学習などから伝えていきたいです。

○派遣高校生 MSさん

10月30日から11月5日まで台湾へ研修に行ってきました。私は今回の研修でリーダーを務めました。今回の研修では期待以上に充実し、台湾の良さを感じることができたと思います。

<1日目>

松山空港到着後台北駅にタクシーで行き、そこから交流校である曾文高級家事商業職業学校のある台南市に新幹線で移動しました。そこでホストファミリーと学校の先生と対面し学校からそれぞれホストファミリーのお家へ向かいました。ホストファミリーのおうちまで約40分のバスとそこから車で約20分かけて帰りました。夜ご飯はホスト宅で家族みんなで食べました。家族は英語を話すわけではないのでコミュニケーションをとることは難しかったですが、少し覚えていった中国語であいさつをすることができました。部屋はホストシスターと同じ部屋で、同じベッドで寝ました。

<2日目>

朝は5時起きで6時にはお家を出てスクールバスに約1時間乗り、学校へ向かいました。スクールバスに乗る前に朝ご飯を買いました。学校では日本や横浜についてのプレゼンを台湾の学生に向けて発表しました。このプレゼンは派遣決定後から毎週木曜日に集まり、指摘しあいながら完成させました。人気のお菓子や、女子高生の流行りなどのスライドでは特に盛り上がりを感じられました。そのあとは台湾の生徒による台湾についてのプレゼンが行われました。プレゼン終了後はスライドに出てきたお菓子のクイズ大会や、そのお菓子やタピオカをプレゼントしてもらいました。午後には綱引き大会に参加したり、部活動に参加させてもらいました。研修前から **schoology** というアプリを使って、現地の生徒や先生と交流していて、その中でバドミントン部に所属しているということをお話したことによって今回の部活交流が提案され、参加させてもらいました。先生も生徒も積極的に交流してくれてうれしかったです。

<3日目>

この日は、学校に集合した後台南市の観光を生徒と一緒にしました。奇美博物館はとて大きくて綺麗でした。周りには川や橋もあり生徒と写真を撮りたくさん撮りました。博物館内を見た後はお土産屋さんに行き、はがきを買い日本へ送りました。私はおばあちゃんの家へ送りました。博物館に行った後はローカルフードを紹介してもらったりショッピングモールに行ったりしました。解散後は各自ステイ先で過ごしました。私は夜市に連れて行ってもらいました。台湾での初夜市だったのでとても楽しかったです。夜市は日本のお祭りの屋台に似ていて親近感もわきました。人気の食べ物を教えてもらったり、一番印象的だったのはゲームに挑戦するとなったときに店員さんが私が日本人だと知り、サービスでやらせてくれました。それに加えて成功するまでおまけしてくれて台湾人の優しさを感じることができました。

< 4 日目 >

この日も生徒と一緒に台南市にあるレストランに行き日本と台湾のつながりを学びました。そのあとはマンゴーの店に行き、そこでお昼ごはんはマンゴーのかき氷を食べました。とても楽しみにしていたのでほんとに嬉しかったし、おいしかったです。午後は学校に戻り、ハンドメイドと英語の授業に参加してもらいました。ハンドメイドの授業での生徒はほとんど英語が話せなかったのですが、頑張って話しかけてくれて交流することができました。英語の授業では、「世界をよりよくするためには」というテーマでいくつかのグループに分けて発表してくれました。そしてそのあとに歌やダンスのプレゼントをしてくれました。とても楽しく盛り上がりました。発表後は小籠包などの台湾の食べ物やタピオカをプレゼントしてもらい、写真を撮ったり SNS を交換したりしました。そこでの交流が今でも続いています。

< 5 日目 >

この日の午前中まで台南ステイだったためホストシスターと一緒に最後の台南を満喫しました。学校でお別れだったので学校に着くと、たくさんの方がお見送りに来てくれていました。一人一人がプレゼントを用意してくれていて待ちきれないほどでした。私も前日に用意した手紙を渡して涙ながらにお別れしました。新幹線で台北に向かいましたが、新幹線内でも台南での思い出に浸っていました。

台北到着後は、ホテルに向かい荷物を整理して士林夜市に向かいました。駅を降りたところから人気さが伺えました。この夜市では、台南で訪れた夜市では挑戦しなかった台湾名物、臭豆腐に挑戦しました。うわさに聞いていた通りにおいはひどく食べて平気なのか心配しましたが、味はとてもおいしかったです。私はこの研修では何事にも挑戦しようと思っていたので食べてみてよかったと思います。臭豆腐の他にも水餃子など食べたかったものを思う存分に食べて士林夜市を満喫しました。

ホテルの最寄り駅についた後はホテル近くにある台湾でもとても人気のあるタピオカ屋さんに行き、ホテル内で飲みました。とてもおいしかったことと、人気のお店に行けたことが嬉しかったです。

< 6 日目 >



この日はまず台北 101 という展望台に行き台湾を一望しました。そこには私たち以外にもたくさんの日本人がいて、台湾が日本人に人気なことを実感しました。展望台からの景色は建物が密集していたことが印象的でした。そこでお土産を買ったり、楽しみました。

その後は十分に少し時間をかけていきました。私は台湾で一番行ってみたい場所だったので行けることになったときものすごく興奮しました。天燈上げで有名な十分では駅に着いた時から、たくさん上がっているのが見えました。そして私たちも実際にあげることができました。ほんとにいい思い出になりました。そして印象的だったことが、どのお店の人でも多少の日本語は話せていたことで安心してできました。日本語の他にもいろんな言語を使って観光客に対応していて、台湾人のすごさを感じました。



十分の後は九分に移動しました。千と千尋の舞台としても有名なこの場所はとてもにぎわっていました。私たちは夜の時間に行ったので、夜ご飯をそこで食べました。そこにもたくさんの日本人がいて、日本語も通じて居やすい場所でした。

ホテル帰宅後は自由時間としてホテル周辺を行動できたので近くのコンビニエンスストアに行きアイスを買ってホテルで過ごしました。地元の人たちの使う場所も実際に行けていい経験になりました。そして、たくさんの日本の製品が売っていることも知ること

ができました。

< 7日目 >

最終日のこの日はまず、龍山寺というお寺に行きました。外観から台湾だなと感じさせ、とてもワクワクしました。門をくぐる前のところに滝があり、自然を感じることもできました。門をくぐるとお経のようなものを唱えているような雰囲気、初めての感覚でした。そこで有名なおみくじをして次の場所へ向かいました。

次に行った橋は、中正記念堂です。この場所も楽しみにしていた場所で場所の広さに驚きました。建物は見た目も中身も大きく広く、本当にすごかったです。衛兵交代式がここでは行われていて、私たちも見る事ができました。息の合った動きに見入ってしまいました。

最後に行った場所は永康街です。この場所には有名なかき氷のお店がたくさんあったので、混んでいない方に入りました。そこの店員さんも、日本語で案内してくれて安心してお店に入ることができました。永康街にいるときに雨が降ってきてしまいあまりに動くことができなかつたのですが、台湾を満喫して空港に向かうことができました。

今回の研修を通してたくさんの人に出会い、たくさん場所に行き、たくさんを学ぶことができました。特に台南では本当に良くしてもらいました。観光では絶対にここまで台湾人と関わることも、いろんな話を聞くこともできないと思うのでいい経験になりました。この研修の良さと、台湾の良さを学校の生徒をはじめ、周りに広めていけたらと思います。

